

会 議 録		令和 3 年11月 1 日作成	令和 7 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府八幡警察署協議会（令和 3 年度第 2 回）		
開催日	令和 3 年10月12日（火曜日）		
時 間	午後 2 時から午後 3 時30分までの間（90分）		
場 所	京都府八幡警察署		
出席者	滝川会長、櫻井副会長、植村委員、坂口委員、石川委員、上村委員、 溝口委員、松浦委員 (欠席 嵩委員 )		計 8 人
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長		計10人
諮 問 事 項	1 子どもの安全確保について 2 防犯情報の発信活動について		
会 議 内 容	1 開会の辞 司会 副会長 2 会長挨拶 3 協議会委員自己紹介（第 1 回欠席者） 4 署長挨拶 5 協議 (1) 諮問事項説明 子どもの安全確保について～生活安全課長 【委員】「こども 1 1 0 番のいえ」を表す緑色の看板の意味を子どもたちは知っているのか。 【警察】小学校を訪問するスクールサポーターなどが、特に 1、2 年生を対象に、「こども 1 1 0 番のいえ」の緑色の看板を、子どもたちに示しながら、「何かあったときは、ここに逃げるんだよ」などと教示している。 【委員】「こども 1 1 0 番のいえ」が、何処にあるか子どもたちは知っているのか。 【警察】小学校の学区ごとに、通学路の危険箇所を示した安全マップを作製しているが、そのマップの中に子どもたちにも分かるよう 1 1 0 番の		

いえの場所を載せるなど、子供たちにも「110番のいえ」が何処にあるのか、分かる取組を行っている。

【委員】「こども110番のいえ」は、一般の方からの応募が多いようだが、八幡市の内里地域などは、田畑が広がる地域で大きな企業はあるものの、一般民家は少ない。

効果を高めるため、企業等への働き掛けも必要ではないか。

【警察】通学路にあるコンビニや商店などの事業所へ協力依頼しており、先日中古車販売店に出向き、協力をお願いしているところである。今後も、事業者への働き掛けを続けて行く。

【委員】一般家庭では、通学時間帯に不在の家庭もあると思う。

事業所など、常に人が居るところの方が効果的だと思うが、どのように考えているのか。

【警察】一般家庭の方が、通学時間帯にずっと家に居ていただくことは、かなりの負担となる。また、有事の際、不在であれば子どもたちを守ることも出来ない。

依頼する際には効果や負担等を十分に勘案していく。

【委員】「こども110番のいえ」を長年されている方の中には、高齢などの理由で辞退したいという方もおられると思うが、どのような対応をしているのか。

【警察】「こども110番のいえ」をしていただいているお宅には定期的に訪問し、辞退の意向も含めた要望や意見など情報交換を行って、現状を把握しており、依頼したままにならないように努めている。

また、看板についても、褪色や割れ等があれば交換を行っている。

【委員】看板の色などは京都府独自のものか。

【警察】京都府独自のものであり、都道府県によって色やデザインが異っている。

内側からガラスに張り付けるコンビニ仕様の看板もあるが、デザインは基本的に同じである。

また、警察署によっては「こども110番のいえ」が分かり易いように「のぼり旗」を出しているところもある。

【委員】以前、八幡商工会としても「こども110番のいえ」を募集し、独自にステッカーも作ったことがある。実際に子どもが訪れたことはないが、子どもも少子化で少なくなり、機能の維持も課題だと感じた。

犯罪は、人の目の届かないところで発生するため、子どもたちが逃げ込める機能の維持を含め、フォローをしっかりとしてほしい。

【警察】「こども110番のいえ」を含め、今後も各種施策のフォローをしっかりと講じていきたい。

(2) 諮問事項説明

防犯情報の発信活動について～生活安全課長

【委員】 FacebookなどSNSを利用した情報発信について説明があったが、特に10代を中心とした若い世代はFacebookやTwitterをあまり利用しないとも言われている。

若い世代は、InstagramやTikTokなどを利用しており、今後、若い世代の意見を集めたり、意識をもって防犯活動に参加しようとしている若者のためにも、Instagramなど新たなツールの利用も必要ではないかと思う。

また、情報を発信する際、どうしても固いお役所言葉の記述になりがちだが、例えば、平易な言葉での話し口調であったり、YouTubeでの動画配信などを行えば、「警察もこんなことしてるんだ」と、新鮮なイメージに変わり、情報も受け取りやすくなると思う。

【警察】 今は、様々な情報の発信方法があり、今後は従来の発信方法にとらわれず、創意工夫を凝らした情報発信に努めていきたい。

【委員】 私は金融機関に勤めているが、老人クラブに「詐欺被害が発生しました」というFAXによる注意喚起が行われていることをお客さんが話しているのを聞いた。これからは、金融機関に対してもFAX送信していたらければ、現在どのような被害が発生しているのかが分かり、来店したお客さんが同じような被害に遭われていないかどうかの判断ができ、スムーズな対応が出来ると思う。

【警察】 金融機関に対しては、金融機関防犯連絡協議会などを通じて情報交換を行っているが、ご指摘については有効な手段と思われるので、今後、実施に向けて検討していく。

【委員】 近年、自治会や老人クラブに加入しない家庭や老人も増えている。

さらに、新型コロナウイルス感染予防のため各種行事も自粛されており、その方たちにどのように情報を発信していくか、難しい問題だと思う。

【警察】 京都府警察のホームページへの掲載や、防犯教室、各種運動や街頭活動を通じて啓発活動を行っているが、コロナ禍によって、滞っているのは事実である。

特に自治会や老人クラブ等に参加されていない方や、人と接触する機会が少ない方に対して、如何に防犯情報を届けていくかが課題であり、今後も創意工夫を凝らした情報発信に努めていきたい。

(3) その他

道路の安全確保について

【委員】 月夜田交差点から石清水八幡宮駅に向かう、通称東高野街道と呼ん

会 議  
内 容

でいる道路が通学路になっている。

同道路は一方通行でもなく、車同士がぎりぎり離合できる狭い道路だが、車両の走行スピードが出ており危険を感じる。「ハンプ」や目の錯覚を利用して速度を抑制する道路標示もあるようだが、お金の問題もあり簡単ではないと聞く。

何か良い対策はないだろうか。教えていただきたい。

【警察】現場の道路は、規制速度30 k m/hであるが、信号設置も少なく抜け道となっており、走行する車両の速度が出ていることは把握している。道路改良や道路標示は財政的な問題があり、同道路に関しては可搬式オービスによる速度取締りを実施するなど、対策を行っているところである。

今後も状況把握に努めつつ、適切な対策を行っていく。

6 事務連絡

令和3年度第3回八幡警察署協議会開催日については、日程調整の上、連絡させていただく。

## 第2回京都府八幡警察署協議会の開催状況

